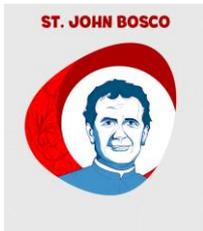




WYD2019 パナマ大会の聖人

<https://panama2019.pa/en/patron-saints/>

聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）



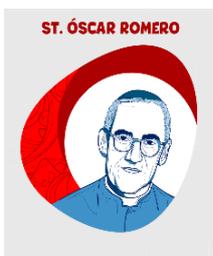
ドン・ボスコによってあかしされたサレジオ会の霊性は、楽観的で人道主義的な視点に立つ教育として特徴づけられます。彼は、1934年、教皇ピウス十一世により列聖され、1988年には教皇ヨハネ・パウロ二世により、「青年の父であり師」であるとして宣言されました。

修道女ロメロ・メネセス FMA

扶助者聖母会（サレジオン・シスターズ）の謙虚な修道女。彼女はコスタ・リカで、貧しい人々のために病院、学校、住宅を含む、幅広い社会奉仕事業を立ち上げ、教皇ヨハネ・パウロ二世により2000年に尊者とされ、2002年に列福されました。彼女の生涯の使命は、「王」であるイエスを心から愛し、イエスと聖母マリアへの献身を広めることでした。



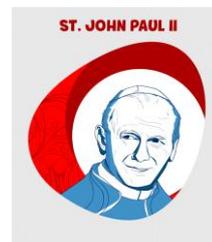
聖オスカル・アルヌルフオ・ロメロ大司教



サンサルバドル教区（エルサルバドル）の補佐司教となり、その後大司教となりました。彼は対話と平和を求め、回心を、暴力をふるった人、不正を行った人、刑罰を逃れた人、政治腐敗に手を染めた人に対して繰り返し促しました。1980年3月24日、ディビナ・プロビデンス病院の聖堂でミサをあげている最中に銃弾によって暗殺され、2018年10月14日に列聖されました。

聖ヨハネ・パウロ二世

「偉大な人」、ヨハネ・パウロ二世は、人生、愛、祈り、奉仕、そして、神の召し出しに身を委ねることにおける手本でしたし、これからも常にそうあり続けるでしょう。彼はいつも若者の中にいて、はつらつとしていました。若者が来るのを待っているより、むしろ彼らに会いに出かけました。彼はワールドユースデーを立ち上げ、自らの職務を通して、不断の愛を示しました。——病ですらその愛を押しとどめることはできませんでした。



聖ホセ・サンチェス・デル・リオ



ホセ・サンチェス・デル・リオ（ホセリート）は、メキシコで起きたクリステロ戦争の闘争のさなかに、15歳で殉教しました。クリステロ戦争では、1926年に制定された反宗教的な法律に抗議して、多くのキリスト者が戦いました。その法律は、公に礼拝することを禁じ、教会を閉鎖するよう命じたのです。彼は、2005年11月、教皇ベネディクト十六世により列福され、2016年10月に教皇フランシスコによって列聖されました。

聖ホアン・ディエゴ・“ホアニート、ホアン・ディエギート”

彼はマリアの従順な使者であり、深い愛を持って聖母に仕え、マリアから与えられた使命に謙虚に従うことができました。彼はマリアのメッセージを遅れずに届けるために、司教のもとに急いで走りました。彼のことが信頼されるように、マリアご自身が彼のために弁護しました。ホアン・ディエゴという模範を通して、わたしたちが神から求められていることに遅れずに従い、神の恵みが行き渡るのを目にすることができま



リマの聖ローザ “アメリカ大陸初の聖人”



イザベル・フローレス・オリバは外見（そこからローザという愛称がつけられました）だけでなく、心も美しい女性でした。彼女は清い心を持ち、熱心に祈り、ひそかに黙想しました。リマのローザの模範に助けられ、キリストの光を伝えることにより、わたしたちも聖ローザのように、家庭内の美德の手本となれますように。

聖マルチノ・デ・ポレス “ホウキをもつ修道者”

「いちばん先になりたい者が、すべての人の後になり、すべての人に仕える者となりなさい。」マルチノ・デ・ポレスは、従順にドミニコ会に入りましたが、肌の色が違うために、修道誓願を立てることができず、修道会内の掃除をしていました。その謙虚さ、従順さ、寛容さにより、修道会への入会が認められ、列聖の榮譽を受けました。彼は新世界であるアメリカ大陸で生きましたが、アフリカ、ヨーロッパの二大陸にも影響を与えています。

